

你好

40号

中国語を学ぶ会

2020年3月 第40号発行

連絡先 久保田 080-1208-4810

「中国語を学ぶ会」新体制発足

昨年5月の定例総会後、渡邊会長突然の辞意表明に伴い急遽臨時役員会を開催し小野寺副会長の会長就任を決定いたしました。渡邊前会長は平成21年4月に就任され昨年で丸10年にわたり会長として会を牽引されてこられました。その10年間、30数余年の歴史を有する中国語を学ぶ会のより拡大・拡充を目指し新たに“HP（ホームページ）の開設”・“研修旅行の企画・遂行”・“昼間クラスの開設”や会誌“你好”の冊子化による内容充実を図りました。柔軟な発想と実行力で推進されておりましたが、“令和”移行を機会に新たな体制への移行を願い退任されたと推察しています。ご苦労さまでした。

小野寺新会長発足に伴う新役員体制は下記の通り。

会長	小野寺 登	(新任)
副会長	久保田 利昌	(新任)
会計	薄井 則久	(留任)
会計監査	鳥澤 光代	(留任)
月曜クラス	久保田利昌 (幹事・留任)	山田慎二 (会計・新任)
火曜クラス	薄井則久 (幹事・留任)	清田美智子 (会計・留任)
水曜クラス	蜂屋和男 (幹事・留任)	泉 初代 (会計・留任)
木曜クラス	石崎正一 (幹事・留任)	中島好光 (会計・留任)

*小野寺新会長からのメッセージは次ページに。 (久保田 利昌 記)

小野寺新会長から会員の皆様へのメッセージ!

会長就任に寄せて

中国語を学ぶ会 会長 小野寺 登

大家好!

みなさまのご指名とご承認を受けまして、今年度の会長を務めさせていただくことになりました。なにぶんにも、当会は今年で47年を迎えた歴史ある会であり、今日まで会を継続してこられた諸先輩方、老師のご努力に感謝すると共に、あらためてその責任の重さを感じております。

会員皆様方の当会で勉強される目的は、様々かと思いますが、気持ちよく勉強したいという気持ちは同じかと思えます。ご承知のように会の運営は、学校ではなくサークル活動のため、今年のラグビーワールドカップの日本チームのように“**全会員が ONE TEAM となり**”運営せねばなりません。又、会を将来・未来へ継続していくために新会員の確保も必要です。そのためにも、ぜひ会員みなさまのお知恵を拝借し、引き続き“**楽しい学びの場**”にしたいと考えます。ご指導、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

会員の方々からの寄稿

台湾時代の思い出

星期三班 蜂屋和男

1991年～1993年まで2年間南港轮胎の生産技術課で仕事をしてきました。

台湾時代の思い出はたくさんありますが、今回は当時の台湾人との仕事の苦労を思い出しながら書いてみます。

台湾に来る前は環境の違い、治安の不安のなど先輩達に聞き不安を持ちながら台湾に来ました。ところが現地の人達と一緒に生活、仕事をしてみると何の不安もなく過ごせました。当時道路は車優先の社会、日本的な考えで行動すると交通事故に遇いそうになることが多々あった。そのたびに頭に来ましたが「ここはよその国」と

自分に言い聞かせ環境になれるように努力しました。

仕事で困ったのはやり言葉でした。自分の考えていることが相手に十分に理解してもらえず行動範囲が狭くなり苦労しました。現地の人と一緒に仕事をする中で一番強く感じたことは国民性の違いです。台湾人は自分の得になることは一生懸命取り組むが、自分に得にならない組織活動はうまく出来ないと思いました。一人でバケツに水を汲む場合には二杯汲んで来るが、二人の場合バケツ一杯を二人で汲んでくる、三人の場合はだれも汲に行かないと本で読んだが本当にそうだと思います。

もう一つの思い出、ある会議で問題の解決方法を指導する場合、課長に解決方法を追求すると「私はこれ以上出来ないので貴方がやってください」答える。「日本ではこうですよ」と答えれば「ここは台湾です、日本と同じレベルにするならば、日本と同じ環境、同じの機械、賃金も同じにしてください」との答え。指導するのに苦労した。

しかし、仕事を離れての付き合いはみんないい人で台湾生活は楽しかったです。台湾生活2年間でしたが中国語の勉強もしましたが当時は覚える必要がなかったので真剣に取り組まなかった。なぜなら事務所の人達は日本語が出来るので中国語を覚える必要が無かったからです。当時勉強していれば良かったと後悔しています。この文章は20数年前のことを書いたので現在は改善されていると思います。当時の仲間とも現在も交流しております。

私には中国の蘇州に一人のメール友達がいます。

その友人とは、2010年3月に実施した“中国語を学ぶ会”の研修旅行「厦門・武夷山・福建土楼の旅」の最終日、中国の厦門市からわずか2 kmのところにある、台湾領土の金門島遊覧の船上で知り合いました。

金門島は中国の国共内戦の激戦地で、岩肌に“三民主義統一中国”と書かれた文字を背景に写真を撮っていると、若い二人連れの中国人の女性からカメラのシャッターを押して頂けないかと依頼された。

依頼を受け、彼女達の写真を撮ってあげると、とても流暢な日本語でお礼を言われた。

その流暢な日本語を話す一人に「何処から来られたのですか？」と聞くと、蘇州から観光で来て、名前は「赵英」と言い、日本語は大学で学びました。と自己紹介をされた。

日本語を話せるなら、船内にいる私たち「中国語を学ぶ会」の仲間を紹介するので来ないか？と誘ったところ、彼女は習得した日本語で直接日本人と会話を出来ることに興味を示したのであろう、快く承諾してくれた。

学ぶ会の仲間の処に連れて行くと「薄井さんが若い女性をナンパして来た」なんて冷やかされたが、彼女は日本人と直接日本語での会話にチャレンジしたかったのである。

私は中国語を習って9年目になるが、現在多くの中国の方が訪日して観光地ばかりでなく、街中のスーパーなどでも見かけることが多々あるが、中国語で話しかける勇気のない私はチャンスを逃がしていると思っている。

彼女は学ぶ会の仲間の輪に入り、彼女の入れるお茶を飲みながら、日本語検定1級を目指している事や日本語を活かした仕事をしたいなど会話が弾んだ。

帰国した一週間後、パソコンに一通の写真付きのメールが届いた。



それは金門島で知り合った蘇州の趙英からで、船上で学ぶ会の仲間と撮った写真と、私たちと直接日本語での会話が出来たことのお礼の内容が日本語で書かれていた。

季節はちょうど4月で日本は桜が満開の時期だったので、私は花水川沿いの桜と高麗山の桜景色を撮った写真を添付した返信メールを書き(日本語です)、もしもこれから私にメールを頂けるなら、中国語の勉強の為に中国語で書いて欲しいと依頼をした。

次に来たメールからは、左側に中国語、右側にはそれを訳した日本語が書いてあった。中国語を習い始めて2年目、教材のNHKテキストの中国語文章しか知らない私が、中国語と日本語が併記されたメールを見て、生(なま)の中国語の文章を読むようになった。

内容は簡単な文章で、お天気の様子や仕事仲間のことであったが、中国語の文章と日本語の文章を見比べながら、中国語ではこのように書くのかと中国語がとても身近に感じた。

その後メールは会社の仕事内容、結婚、出産（一人目）、飲食店の起業、出産（二人目）、転職、そして春節や年中行事など事あるごとに近況報告のメールを送ってくれた。

日本語が併記されていたメールは、いつしか中国語だけになり文章も長くなった。

日本語への翻訳はネットからダウンロードした翻訳ソフトを利用したが、機械翻訳は満足な翻訳がされないので、中日辞書を片手に一時間以上にも及んで翻訳するような時もあった。

それでも意味が通じなく翻訳が出来ないところは、火曜クラスの授業が始まる前に李老師に翻訳してもらい内容の理解をした。

語学学習は話すこと、聞くことが本来の勉強なのだろうが、私は読むことに力を注いでもしまったようで、9年間も勉強をしているのに話すことと聞き取りにはまだまだ苦勞している。

一方、私からのメールは文頭の数行を中国語で書いては、その後は「由于时间关系,我就用日语表达了。」とか「虽然想要用中文回答,但是因为内容有些复杂所以用日语表达。」と言った、言い訳を書いて日本語の文章になってしまいます（笑）

彼女は昨年（2019年）の7月、会社の出張で茨城県つくば市に来日した。

2010年金門島遊覧の船上で、日本語を活かした仕事に就きたいと言っていたが、蘇州市にある農業機械メーカーの“クボタ”に就職し、日本語を使用するいくつかの職場を異動し、現在は研修課と言う部署に所属している。

今回の出張は、つくば市にあるクボタ研修センターで実施される研修兼農業機械の操作コンテストに参加するため、蘇州工場の研修生二人の引率と通訳業務で来日していたと言っていた。

7日間の研修を終えて帰国する前々日に、家内と二人で彼女の宿泊しているホテルを訪ねた。

9年振りに再会した彼女は、堂々としたキャリアウーマンになっていて、日本語を活かした仕事に就いて、担当している現在の仕事に満足し、生き生きと働いている様子だった。

私は用意していた幾つかの中国語で挨拶と会話をしたが、彼女の流暢な日本語の受け答えにあって、10分も経たずに完全に日本語だけの会話となってしまいました。

3時間余りの再会だったが同行した家内とも打ち解け、金門島での出会い、仕事、子育て、これから自分のやりたい事など食事をしながら会話が弾んだ。

9年前、遊覧船上で「カメラのシャッターを押してもらえませんか？」の会話をきっかけにメール交換が9年間も続き、仕事での来日ではあるが日本の地で再会するとは思ってもよらなかった。いつの日か私たち夫婦が蘇州を訪れることを約束して来た。

彼女はメールの中で「她是你的朋友，友嘛！」と書いて来たことがある。それで学ぶ会の火曜クラスに在籍されていた



が蘇州を訪

也是我的朋友，
は、昨年ま
石川智美さ

さんが、2018年12月にご主人の住む中国・北京に行かれて四ヶ月が経った頃に、私は学ぶ会の餃子会の様子と新しい崇善公民館が四月に開館したことを知らせるメールを送った

返信メールがあり、学ぶ会の餃子会を懐かしみ北京での生活の様子の内容に続いて、「中国人のお友達はまだいないので早く作りたいです」と書かれていた。

北京と蘇州、距離は離れているが、今はいろんな通信手段があるので「网友」として蘇州の趙英を紹介してはどうかと思いつき、北京に私たち学ぶ会の仲間石川さんという方がご主人と住んでいるので友達になって欲しいと、連絡したら上記の言葉（她是…）を私に、北京の石川さんには早速友達メールを送ったようだ。

石川さんから蘇州の趙英さんから中国語で書かれたメールを受け取り、その上微信でも交換させてもらう仲になりました！とのメールが届いた。

昨年の夏、石川さんご夫婦が蘇州に旅行をした時には、趙英と連絡を取り合って蘇州の街を案内して頂いたと、石川さんから数枚の写真を添付したメールが届いた。

趙英がメールに書いた「她是你的朋友，也是我的朋友嘛！」を大事にされ、友人から友人が広がって行くことがとても

嬉しくなりました。

中国語を勉強して9年目になるが、話す、聞く、聞進歩しない私ですが、中国語で書かれたメール

0%かな?) くらいは内容が判るようになって

語学学習では読むことは本筋ではないだろう
読もうという熱意があったから中国語の学習も続き、又読めるようになったのだと思っています。でも、私が書くメールはまだまだ日本語で書くことが多く、いつかは全文を中国語で書いたメールが発信出来るよう、これからも中国語の学習を続けていきたいと思っています。



く力は一向には60% (5

た。
が、メールを

你好！东京

中国苏州 赵英

大家好！学习中文的日本朋友们，我们又见面了！非常荣幸，收到薄井先生的委托，又可以为《你好》这本杂志写点什么。从2010年厦门相遇到现在将近十年了！虽然有很多人都是匆匆一瞥或者未曾谋面，但是我总觉得跟你们这个“中国語を学ぶ会”在共同成长。好像已经一起走过了很多岁月一样~

还记得去年我写的游记《遇见北海道》这篇文章吗？当时，出生北海道的小野寺さん还给了我很多建议。借这个机会我要谢谢他！



游记中我提到过下一个目的地是玩转日本本州岛。今年7月，我有幸参加了我所在单位总部在日本筑波工厂举办的“技术研修”活动。研修的最后一天我们去了东京游玩。虽然这次没能玩转本州，但是东京一日游也已足矣！

从筑波到东京大概1个多小时的车程，我们去了“浅草寺”，“东京湾游船”，还有“东京塔”。这些地方不论是外国人还是日本当地人，来到东京应该都会来参观的吧！这里不但有很多美味的小吃，还有很多日本特有的民族特色。

7月的太阳火辣辣的，都抵挡不了我们兴奋的心情。不论是在空中餐厅面向晴空塔享用美食，还是在东京湾的水上巴士喝着冰镇咖啡，抑或是在东京塔俯瞰整个城市……那都是一种享受。

我想说：“你好！东京，我对你还不够了解，下次有缘再见！”

介绍一本小说 “房思琪的初恋乐园”

星期四班 武井 优纪

我最近看了一本小说“房思琪的初恋乐园”。这是台湾的小说。虽然题目很好看，但是情节非常悲哀。主人公是一个少女。她受到憧憬老师的强奸。他多年来多次强奸几个少女。

有个学生在网上告发他做的事，可是她被诽谤中伤了。主人公有一个年长的朋友。她又漂亮又聪明。但是她也常常受到丈夫的暴力。这个小说出版了以后，作家林奕含自杀了。

生前她说这是基于真实故事。我觉得暴力是难认识到。最恨的是犯人但是受到暴力的人被谴责了。我们要怎么改变这个世界？这是多么痛苦的内容，但是文体又清新，又好看。真遗憾我们看不到林奕含的下次小说。

惊人的是这本小说是我们的同学泉女士的女儿翻译的。请你看看这本小说。

****武井さんが紹介されていますように会員の泉さんのお嬢様が翻訳されています。ぜひ機会を見つけて一読を。(久保田)****

汉语角に参加して

星期二班 小野寺 登

以前、李老師から池袋駅近くの公園で中国人と日本人が集まり交流している。会話の練習になるかもと教えられた。

私は10年以上も中国語を学んでいるが、すっかりマンネリ化しており、又、使う機会がないことを逃げ口上になっていた。

汉语角のブログをしてみる。

初参加者は中国語と日本語で自己紹介をすると書いてあったので、これまでの教科書を総動員させ、自己紹介の文章と話のきっかけにしようと簡単な質問文を作った。30分で退散もやむなしと、年の瀬の昨年12月30日に意を決して行ってみた。

池袋駅西口を出て東京芸術劇場の横を通り、ほぼ突き当りが西池袋公園だった。ちょうど午後2時頃到着した。既にそれらしき人が5、6人いた。「初めてなんです？」と言うと伊藤さんという初老の人が、今日の担当だという王さんを紹介してくれた。王さんは「名簿に氏名と日本人か中国人か初参加どうか書いて」と言われる。徐々に人が集まってくる。いつの間にか主催者の段さんと思しき人も来ていた。3時になって自己紹介が始まった。一人終わる度に段さんがコメントする。私は3番目に呼ばれ自己紹介した。「発音いいね」と言われた気がした。

今回の初参加者は**长沙**で日本語を教えていた人、香港に赴任していた人等5、6人いた。皆さん**汉语说**得很流利。参加者は39人で日本人が24人、中国人が15人だった。

交流に入る。まずは東村山から来たというおじさんと世間話、そのうち私は日本人と話すために来たのでないと自分に言い聞かせ、

話の輪に入ってないご婦人に

「你是中国人**吗**？」と話しかける。

「違います。日本人です。」と少しムツとした様子。

「**对不起**！ごめんなさい！」

それにしても、女性も男性も以前に比べ服装、髪型に差がなく中国人と日本人の見分けがつかない。

気を取り直して一人でいる若い男性に

「你是哪国人？」と聞く。

そうすると

「×××西安×××」と言った気がした。

何？西安だって？がぜん元気が出る。

我：12年前在西安外国语大学汉学院半年留学了。你什么时候来的日本？

他：今年10月来的。

：你叫什么名字？

：我叫〇〇〇。

：你今年多大？

：21岁。

：你现在工作还是学习？

：学日语。我现在在西安外事学院4年级。

：你来过几次日本的？

：来过3次。第一次来的时候去 Daban, Jingdu, 和ダオゲン。

私は彼の話の後を追って大阪、京都、Daogen?? 島 ?ああ島根かとやっと気が付く。

話をしているうちに脳は少しずつ中国語モードに切り替わっていく気がした。

我：你父亲做什么工作？

他：开饭店。

：在哪儿开店？

：开在西门附近。

：哦，丝绸之路出发点吧。

：是的，是的。

「何か聞きたいことがありますか？」と言うと彼は

「文章の発音が“ぶんしょう”“ぶんしょ”“ぶんしゅう”か紛らわしい」と言う。

「慣れるしかないないね。私の後に着いて言ってみて」

「ぶんしょう、ぶんしょう、ぶんしょう」

「いいね。いいね」

私も zhi、chi、shi と ji,qi,xi の違いに苦労しているよと言う。

次に「ペラペラ」「ガチャガチャ」というような擬音語の使い方がわからないと言う。

私は贅沢な悩みと心の中で思いながら、それも慣れるしかないと教える。

「ペラペラ」とは、あなたの日本語は、ほぼ「ペラペラ」と言えるよと例えた。

「ガチャガチャ」とは瓶どうしが当たって出す音を表す時に使うことが多いと教える。

我：你日本的正月怎么过？

他：去横滨 镰仓和江之岛。

：春节的时候回家吗？

：不回家。

：为什么？

お母さんは、こんな機会はめったにないから日本にいて色んな所を旅行しなさいと言う。

「我想也是。いいお母さんだね」と褒めてやった。

話しているうちに終了の5時に近づいていた。私は準備していた質問文をチェックしてもらう。

40個のうち9個も修正された。

几次参加？⇒参加了几次？

在故乡有谁？⇒有谁在故乡？

什么时候来日本？⇒什么时候来的日本？ 等等

あ～あ、李老师に叱られる。「ボーっと聞いているんじゃないよ！」と・・・

今回は西安出身者がいたので盛り上がったが、次からは話したいテーマ（知りたいこと）を考えていかねばならないと感じた。

平塚にいても中国人らしい人とはすれ違ふ。たまに話かけても「你好！你是从哪国来的？」程度である。相手はこの時、日本人と話すために出かけて来たわけではな

いので、あまりしつこいと不審者と思われる？！

その点、**汉语角**は日本人と話をしたくてわざわざ来る。こちらも中国語を話したくてわざわざ出かける

お互いに目的が一致するのだ。それも1回の参加で2、3時間も話せる。そして参加費もいらない。

只、数回通って目覚ましく向上すると思うのは虫がよすぎると自分に言い聞かせる。

何事も“継続は力なり”通っているうちに徐々に話せるようになるのだろうと思う。

这可怎么办！

结束

“こんにちは！”

火曜クラス 杉山宜之

“辞めないで続いています”、これが第1回目の寄稿です。私の名前は杉山宜之です。どうぞ宜しくお願いします。私と中国語との出会いは卓球クラブ間の交流からでした。その中に中国の方がいました。

彼らの会話の中に入れたら楽しいだろうなーの思いからでした。そんな折、2018年1月頃に中国語体験レッスンの機会がありました。それ以前は中国語・中国旅行とは無縁でした。すぐに月曜日クラスに、語学力不足なのに火・水曜日クラスにも参加。レベルの差に今でも折れそうです。“千里の道も一歩から”と言います。私も一歩一歩の想いです。

李先生や皆さんの“中国事情”の話を知る楽しい時間となっています。学び始めて一年十ヶ月です。中国の方とは挨拶からでしたが、進歩していません。いつも優しく親切に接してくださる先生や皆さんに感謝しています。ありがとうございます。

“続けます”。

你好

星期二 杉山宜之

“持续不放弃”这是我第一次投稿。我叫杉山宜之。请多关照！我接触汉语是从乒乓球社团之间交流开始的。里面有中国人。能进入他们谈话，我想会很有趣吧。2018年1月，有汉语体验的机会。在那以前，我跟中文和中国旅游完全没缘。那个体验后，我马上就参加了星期一班。我也上星期二和星期三班的课了，两个班的水平很高。现在也让我好像会要放弃学习。

“千里之行，始于足下”我想一步一步前进。

听李老师和大家关于中国情况的谈话给我很愉快的时间。我学了一年十个月了。

我和中国人最初口语是“你好”“再见”“明天见”“辛苦了”“不客气”“请再说一遍”等等。现在还没有进步。

常常受到李老师和大家的和气和热情的好意。

我真心感谢。谢谢。“我想持续下去”。

中国語で注文しよう----と！

星期一班 山本千春

初めて台湾を訪れたのは5年程前。知り合いから“何を食べても美味しい”・“昭和の日本の雰囲気が残っている”と聞き、行ってみたいと思うようになった。

それまでアジアの国々は旅行であちこち行ったけれど台湾に行こうと思ったことはなかった。あまりにも日本に近いので、“多分九州に似たような所なのだろう”と勝手に想像していたのだ。実際訪れてみると想像していたのとは全く違う世界、屋台の小吃を楽しみながら街を散策しているだけでも楽しくて、すっかり台湾にハマリリピーターになってしまった。中国語は全く話せないけれど向こうが日本語を喋ってくれるし、メニューは漢字で書かれているものを指差せばいいだけなので全然困

らない。でも何度も行くようになると、中国語を一言も話せないのもちょっと寂しいような気がして、“中国語を学ぶ会”に参加させてもらうようになった。まだまだ初歩の初歩、語学習得の道のりは長く険しいことを実感している。ちなみに私の好きな食べ物は、牛肉麺・胡椒餅・葱挾餅・湯包・火鍋等々たくさんあるのだけれど、次回行った時は中国語で注文してみたい。

山本さんは昨年1月入会され一生懸命学習されていましたがお仕事のご都合で昨年12月に退会されました。落ち着きましたら復帰されます事期待しています。(久保田)

初次见面，请多关照

星期三班 後藤 悠

皆さま

大家好！私は11月から中国語を学ぶ会に入会させて頂きました後藤 悠（はるか）と申します！
どうぞよろしくお願ひ致します(o^^o)
乱文で大変恐縮ですが、
自己紹介を兼ねて台湾でのお話をさせていただきたいと思います。

去年の春、結婚を機に茅ヶ崎から平塚へ引っ越して参りました。
中国語は大学時代に第二外国語として勉強しておりまして、何度か中国にも旅行へ行きました。卒業して働く前に
中国で短期ホームステイをして勉強したいなと思っておりました。

そんな時、友達と行った台湾旅行で

運命?!の一见钟情しまして、、、

そんな不順な動機で?台湾へホームステイする事を決めました!

彼は夜市にあるお店の店員さんで、日本語を少し勉強している年下の男の子でした。

私もつたない中国語でお互い一生懸命コミュニケーションを取りました。

士林夜市はとても大きい夜市なので

一度しか行ってないそのお店に辿り着けるか不安でしたが、全く迷わずに吸い込まれるかのようにあっとゆうまにそのお店の前に立っていました。私は何度もお店の前を行ったり来たり、、緊張でなかなか中へ入ることができません。

意を決してお店に入り、彼に『你好!你记得我吗?』とおそるおそる声をかけました。

彼はびっくりしていましたが、覚えてくれていて

後日台湾を案内してあげると言ってくれて連絡先を交換しました。

待ち合わせ場所のバス停へ行くと2つタピオカジュースを持って待っていてくれました。

親友のお店に連れて行くよと言われ、バスに乗って基隆という街へ向かいました。

彼の親友は日本語が全く話せない男の子でした。

私たちはしばらく楽しく談笑していましたが、

そこで予想もしていなかった事件が起こりました！

私は彼に

『对我来说你就像是弟弟一样的人』

と言いました。

するとそれを聞いていた親友の男の子が突然笑い出し、

『为什么他是弟弟？如果要这样说的话、对你来说是你的妹妹吧』

『?!』ええ—————?><

でも私はこれは何かの聞き間違いか

台湾ジョークなんだと思って信じませんでした。

そのあと親友とは別れ、映画を見に行きました。

終わってトイレに行くとなんと彼も普通に女子トイレに入ってくるじゃありませんか。。。

さらにびっくりするのは、トイレにいた周りの女性たちはそのことに全く驚かず普通にしていることです。

極め付けはマックに行って

お互いの免許証の見せ合いをした際、

性別のところにしっかりと「女」と

書いてありました。

私はさすがに信じざるえないとこの事実を受け止め、諦めました(/_;)

日本の友達に写真を送ったら、皆私と同様で
男性だと思ったけど、台湾の方から見たらすぐ女性と分かるみたいです。
看不出他是女的。

ホームステイ先のお姉さんに聞いたところに
よると台湾では、こういう女の子が多いそうでよくある話みたいです。

色々貴重な経験をしましたが、人が暖かく、食べ物も美味しい台湾は
今も昔も大好きな場所です(∩)！

そんなホームステイからもう 10 何年以上がたちますが

もう一度中国語をしっかりと勉強して
沢山の方とコミュニケーションを取れるように
なりたいので、どうぞよろしくお願いします。

***後藤 悠さんは昨年 10 月から水曜クラスに参加されました。ご都合で現在昼間クラスのみ参加ですので
ご存知無い会員方が多いと思いますがよろしくお願いします。(久保田) ***

最近入会された方の紹介

後藤 悠（はるか）さん；令和元年 10 月（水曜クラス）——上記参照

渡邊 芳（かおる）さん；令和 2 年 1 月（月曜クラス）香港生まれ（幼少期で帰
国）大学生の息子さんが中国語を学び始めたので負けずに勉強開始。

李老师から会員の皆さんへのメッセージ

汉语用什么办法好？

李老师

- 1, 背五十音图，和背汉语拼音一样。我用卡片背，这样走路的时候也可以背。
- 2, 背单词，不过我记性不太好，记住的单词很快就会忘了。
- 3, 查单词，再看电视和看报纸的时候，有不认识的单词就查字典，那时候还没有智能手机和电子字典。
- 4, 看动漫和漫画，因为句子比较短，还有图片，很容易明白。
- 5, 看电视剧和电影，录下来看三遍，第一遍看字幕，第二遍一边看字幕一边查字典，第三遍不看字幕，尽量听。
- 6, 每天用日语写日记，把每天的天气，发生的事情，自己的心情写下来。

学汉语也是这样，语言最主要的目的是交流，一定要多听多说。坚持就是力量，每天坚持学一点儿，就会成为一种习惯，坚持下去就会看到成果的，我们一起加油吧！

***一月以降、想定外の新型コロナウイルスにより会員の皆さんも外出を極力さけ在宅の日々が多かったと思いますが、老師の語学習得の方法を踏まえ過ぎていたら授業再開後は飛躍的にスキルがアップしていることでしょう。早く“ニーハオ”を発行してきてくれたらもっと勉強できたのにー、といつものサボリの言い訳が聞こえますが。まさか、そんないい加減な人間はお前だけだーなんてね (久保田 記) ***



編集人雑感

中国武漢を発生源とした新型コロナウイルスは1月の春節を境に中国国内から海外へと急速に拡散し3月末現在、アジア・ヨーロッパ等全世界がパンデミック状態を引き起こしています。当会も市の施設使用禁止に伴い3月より休講しています。まだ1ヶ月ですが外出の自粛や個人的には自宅学習の孫娘のお相手も疲れつつある今日この頃です。

4月1日から授業再開見込み；昨日、公民館・勤労会館より条件付きではあるが公民館利用が可能になるようです。正式に可となりましたら会長より連絡が入ると思いますが、見えない敵ですのでお互い各自でリスク対策は実施しましょう。

你好の発行が一応3月中に間に合いました。会長在任中のこの10年間“你好”の編集発行者を兼務されておられた前渡邊会長が退任され、『39号に積み重なった伝統ある会報』を絶やしてはいけな—との思いだけで無謀にも你好の編集担当を引き受けました。PCスキルに乏しい者にとりましては、いかに体裁良く・会員の皆様が読み易く編集するかが腕の見せ所でしょうが、情けないですが、エッチラオッチラ、やっと発行にたどり着けました。李老師はじめ半年も前からご投稿いただいた方々には大変感謝しております。（初めて担当して、いかに投稿件数を確保することが大変な事かと実感し、渡邊さんが嫌になった気持ちも肌で感じました）。

なお、本文中の誤字・脱字等ミスが在りましたら、その責任は編集人に全てあります。寄稿頂いた方々にはご容赦の程よろしくお願い申し上げます。

令和2年3月25日 編集責任 久保田利昌